

知識は 旅をする



館内のご案内（８）研修室スクリーン

東部図書館では、7月を除く奇数月の第3土曜日に名作映画鑑賞会を行っています。

千葉県立東部図書館だより

2015年6月

第53号

トピックス

▼文学講座

- ・『大日本国語辞典』を作った男
松井簡治―銚子が生んだ国文学者、
その生涯―
- ・講師 越川行雄 氏
(松井簡治資料刊行会副会長)
日時:平成27年6月13日(土)
13:30～15:30
会場:東部図書館 3階 研修室

▼職場体験学習の受け入れ

- ・夏休みを中心に、「中・高生の職場体験学習」の受け入れをしています。カウンター等で皆様と接する事があると思いますので、ご理解とご協力をお願いします。

ホームページURL

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

携帯電話サイトURL

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/m/>

携帯電話機のQRコードリーダーでアクセスできます。



読書活動の充実に向けて

先頃、国立国会図書館が実施した「図書館利用者の情報行動の傾向及び図書館に関する意識調査」によると、1年間での公共図書館の利用頻度を1年間の本の閲読冊数別でみると、閲読冊数が多いほど利用頻度が高くなる傾向にあることが分かります。利用頻度が「月に数回程度」以上の割合が、閲読冊数が「21冊以上」では79%と非常に高く、「11～20冊」では61%、「6～10冊」では45%、「4～5冊」では36%と次第に落ちてきます（調査結果は、国立国会図書館のホームページに掲載されています）。

すなわち、読書活動と図書館利用は、正の相関関係にあるわけです。

このほど策定された「新 みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン（第2期千葉県教育振興基本計画）」と「千葉県子ども読書活動推進計画（第三次）」で目指す「読書県『ちば』」を推進するための重点的取組の一つは、図書館における読書活動の充実、加えて県立図書館の機能の充実です。

東部図書館は、地域の核となる図書館として、県民の皆様の調査研究や課題解決を支援するとともに、中央図書館、西部図書館と一体となって、市町村立図書館、公民館図書室等の読書施設、学校図書館や関係機関と様々な形で連携、協力し、県内全体の読書活動の充実に努めてまいります。

文字・活字文化振興法が施行されて10年。改めて文字・活字文化の原点に立ち返り、図書館が拠点となって、知識と知恵を継承し、想像力と創造力を培い、豊かな人間性を育む読書活動をサポートしていきたいと考えています。

千葉県立東部図書館長 木内 史佳

参考図書カフェ (16)



『三省堂 日本山名事典』 改訂版
徳久 球雄・石井 光造・武内 正 / 編
三省堂 2011
請求記号[29103/80/11(参考)]



東部図書館には、多くの参考図書があります。

参考図書は、何か特定の知識・情報について調べるための資料です。辞書や百科事典、便覧、統計書などで、小説のように通読するものではなく、言葉が五十音順に並べられていたり、索引が用意されていたりと、必要な部分を簡単に探し出せるように編集されています。そのため、短時間で簡潔な知識を得るのに便利です。

*個人貸出はできません。

2014年に、8月11日が「山の日」として制定され、2016年から国民の祝日として施行されます。この日は「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」とこととされています。

そこで、今回紹介するのは『日本山名事典』です。さて、問題です！日本で一番多い山名は何でしょう？答えは“城山”です。読み方は「しろやま・じょうやま・ぐすくやま…」と様々ですが、なんと298もの“城山”が日本にはあるのです。山名の由来を調べたり、これから登ってみたい山について調べたりすることで、日本の山に親しむ機会にはいかががでしょうか！



関連一般図書



『千葉県の山』 改訂新版 中西俊明・植草勝久・小川秀樹・伊藤哲哉 / 著
山と溪谷社 2015 請求記号[C2909/14/15]

登山コースのチェックポイントなどを、カラー写真で紹介しています。

『歩いてみよう房総の自然』 増補新版 う沢喜久雄 / 著 崙書房出版
2013 請求記号[C2909/97]

おすすめの山の見どころを、季節ごとに紹介しています。

『山のことば辞典』 豊田和弘 / 著 河出書房新社
2014 請求記号[7861/95]

カール？クマ棚？…独特の山のことばがわかりやすく紹介されています。

*請求記号の最初に「C」が付いている資料は、「千葉県資料」コーナーにあります。

レファレンスあれこれ (43)

図書館では、資料に関する調査・相談にお答えしています。過去に寄せられたご相談の事例を紹介します。

錦絵『飲食養生鑑』

【 質問内容 】

歌川国貞の錦絵『飲食養生鑑』を、インターネットではなく本で見たい。

【 調査経過及び結果 】

- 1 千葉県立図書館OPACで「全項目」に「飲食養生鑑」と入力して検索すると「通俗飲食養生鑑」(原田貞吉編訳)を収録した『近代日本養生論・衛生論集成 第11巻』がヒットするが、探しているのは1枚物の錦絵。
- 2 手掛かりをつかむため Google でキーワード「飲食養生鑑」を検索すると、画像が出てくる。本に収録されたものが見たいとのことなので『浮世絵レファレンス事典』(日外アソシエーツ株式会社編 2010)、『日本美術作品レファレンス事典 絵画篇 浮世絵』(日外アソシエーツ株式会社編 1993)等を調査したが、該当の記述なし。
- 3 「味の素食の文化センター」に江戸時代の食文化を知るための「錦絵アーカイブス」(<http://www.syokubunka.or.jp/archives/nishikie/>)があったことを思い出し、「飲食養生」で検索したところ「飲食養生鑑(いんしょくようじょうかがみ)」のページがヒットした。絵師は不明であったが、出典は『図録日本医事文化史料集成 第4巻』。県立中央図書館が所蔵していたため、取り寄せて提供した。(インターネットの最終アクセス: 2015年4月22日)

【 提供資料 】

『図録日本医事文化史料集成 第4巻』(日本医史学会編 三一書房 1978)

担当者のコメント

何でもインターネットで見られる時代だからこそ、あえて本で見たいという要望もあります。今回、掲載図書を特定したのは関連主題の参考図書ではなく、データベースでした。データベースには、有料・無料いろいろありますが、その特徴を知って上手に活用すると、効率良く資料を見つけることができます。

名作映画鑑賞会のご案内

7月を除く奇数月の第3土曜日に開催しています。(入場無料)

開場:午後1時15分 上映:午後1時30分～ 場所:東部図書館3階研修室

★ 9月19日 『幽霊西へ行く』 監督:ルネ・クレール 主演:ロバート・ドーナツ



くつろぎと 安らぎを ぜひここで

～栗源市民センター さつき館 図書室～

平成26年12月9日にオープンしたばかりの、栗源市民センター「さつき館」。栗源支所、図書室のほか、



ホール、視聴覚室、調理室、和室などもあり、市民に広く利用してもらえ

る公共施設である。建物の入り口には「栗源町閉町記念碑」というあまり見かけない言葉の碑が立っている。というのも、市町村合併で平成18年3月27日に香取市になったから。香取郡栗源町だった頃の図書室は、公民館の中にあり、町民に親しまれていた。ところが、震災で公民館は立ち入りもできない状態に。そこでもととの支所を市民センターとしてリニューアルするにあたり、図書室もここに移転したのである。香取市では、合併時に図書館ネットワークの充実を図り、佐原・小見川・山田・栗源の図書館・読書施設の相互利用の利便化を計画し、このさつき館図書室の整備で完成した。ここで借りた本を他の3館でも返却でき、3館で借りた本をここでも返却できる、市民にとっては使い勝手の良い読書の窓口となっている。



図書室は、正面玄関を入り、支所の前を通過して、その奥にある。ガラス扉を開けて入ると、そこはほっとできるくつろぎのスペース。90㎡弱のこじんまりとした図書室

は、まだ新しい部屋独特の木の香りがする。紺のカーペット、白い壁、白木地の書架。大きな窓からは外の日差しがたっぷり注ぎ込む。その窓側に、新品の机と椅子が置かれている。手前の書架は絵本をはじめとする児童書が豊富に揃い、奥には小説等一般向けの書籍が並ぶ。利用者の多くは、子供を連れてのお母さん層と、自分の時間を持てるようになったシニア層。現在の蔵書は、5000冊ほどだが、さらに充実させる予定で、書架には余裕がある。本を手に取りやすく、気に入った本を読むのにもぴったりの空間は、まさに落ち着きと安らぎを提供するスペースとなっている。貸出、返却の手続きは、管理事務室ででき、利用者の検索用OPACの端末、返却用ブックポストも管理事務室前にある。

これだけ充実した施設なので、ぜひ多くの方に利用してほしい。まだオープン半年もたたず、市民に浸透していないこともあるのか、利用者層が限られているようだ。担当の方は、中学生、高校生の利用も呼びかけたいとのこと。より広く人々のいこいの場となることが期待される、ぬくもりに満ちた図書室であった。



- ◆所在地 香取市岩部700 (0478-75-1100)
- ◆開館時間 午前9時～午後5時
- ◆休館日 月曜日、祝日の翌日（祝日の翌日が火曜日の場合を除く）、年末年始

■ 県立図書館の資料は、市町村立図書館などを通じて利用することもできます。

お近くの図書館、あるいは公民館図書室等の読書施設にご相談ください。（一部ご利用いただけない施設もございます。各施設にご確認をお願いいたします。）

■ 県立図書館では、千葉県に関する資料を収集しています。

グループ・職場などで資料を発行されたときには、情報をお寄せください。

編集長の独り言

季節は夏です。今年も厳しい暑さとなるのでしょうか。下界が暑くても、山頂ではきっと涼しい風が吹いているでしょう。登ることはできなくとも、図書を通じてその風を感じたいものです。

編集・発行：千葉県立東部図書館

〒289-2521 千葉県旭市ハの349

TEL 0479-62-7070

FAX 0479-62-7466

URL : <http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>